

社民・民主・護憲クラブ代表質問 松尾 哲也 議員

# 政権交代後の国の当初予算案による影響を問う

本市の平成22年度一般会計予算は、総額525億2,000万円で、前年度比で4%の大幅増となった。主な要因は、子ども手当の創設と生活保護などの扶助費の増によるものとされているが、市税総額では136億7,320万円、前年度比で4%の減少となり厳しい状況が続いている。

一方、鳩山内閣が誕生して初めての国の当初予算案においては、地方交付税が1兆733億円増額されたが、この予算案が本市に与える影響を問いたいとして、次のような質問があった。

## 市長の政治姿勢

### 平成二十二年度予算案

**問** 国の平成二十二年度の予算案がもたらす本市への影響を聞きたい。

**答** 大きくは二点ある。

一点目は、子ども手当の創設の結果、本市の予算額は大幅にふえたが、児童手当の負担は変わらず、市の実質的負担額は変わらない。二点目は、地方交付税の別枠での増額である。市税は五億七千四百万円の大幅減となり大きな痛手だが、国は地方が自由に使える財源をふやしており、その結果、臨時財政対策債を含めた実質的な本市の地方交付税総額は前年度比十一億四千万円の大幅増と見込み予算計上することができた。地方交付税の増額は、財政健全化を目指す本市の二十二年度予算編成の財源対策に大きく貢献し、大変ありがたい。

## 物流センター・東部適地の工業団地整備

**問** 工業団地整備の予算計上については、市長会見が先行し、議会等への説明もなかったが、どう考えているか。

**答** 議会等への対応については適切でなかったと思う。今後は、事業の重要性も踏まえ適切に対応していきたい。

## 環境育整所の備

**問** 子供たちへの環境整備は、行政として積極的に取り組む必要があると思う。保育所の老朽化・耐震化に対する考えを聞きたい。

**答** 施設の老朽化・耐震化への対応は、児童の安全確保の観点からも必要だと認識する。

今後、全市的な保育所整備に係る施設整備計画を策定し、二十三年度からの総合計画後期基本計画に基づいた計画的な対応が図られるよう取り組みたい。

## 九州新幹線全線開通

**問** 新大牟田駅周辺の土地区画整理事業の施工区域は現在八・七ヘクタールだが、当初計画は県道南関・大牟田北線以南の区域を含む二十・五ヘクタールであった。同区域にならなかった土地は今後どう活用するのか。

**答** 当初は新駅を核とする約二十ヘクタールの地区について基本計画を策定したが、関係機関との協議で、人口が減少する中で市街化区域の拡大は非常に困難との指摘や、短期間で多大な市費負担などを総合的に勘案した結果、区域の縮小を余儀なくされた。

同線以南の今後の土地利用については、人口や建物着工件数の減少に加え、地価下落に歯どめがかからない経済状況では、市街化区域編入の困難性や多大な市費負担の面など、土地区画整理事業実施のハードルは非常に高いと思う。



土地区画整理事業が進む新大牟田駅周辺

## 武道場、笹林庭球コートの使用料

**問** 武道場、笹林庭球コートの使用料新設に至る経緯及び効果額を聞きたい。

**答** 二十一年度からは、学校開放体育施設についても使用料負担の協力を得ており、また、同じ公共の同種の施設で使用料負担の公平性が保たれていない事態の是正と、財源確保の観点から使用料の新設に至った。武道場、笹林庭球コートの利用が過去の実績で推移した場合、それぞれ約七十万円の収入が見込まれる。